

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	競艇事業部	警備課	内線等	97-400
----	-------	-----	-----	--------

事業コード		事務事業名	警備取締事業	
根拠法令等	モーターボート競走法		A法令	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇
------------------	----

事務事業の内容

対象	場内への入場者に対して
手段	競走場での安全・秩序を維持することによって
想定する成果	競走の公平かつ安全性を確保する。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
入場者(人)	1,444,510	1,421,680	1,345,000
収容人員(人)	35,132	35,132	35,132
開催日数(日)	220	241	228
臨時警備員数(人)	20,838	20,917	21,096

成果指標

成果指標名	1日当りの場内収容率	1日当りの臨時警備員数
成果指標の説明	入場者 / (収容人員 × 開催日数) × 100	臨時警備員 / 開催日数

事業の進捗状況 (モーターボート特別会計) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			16.8%
	実績	18.7%	16.8%	
成果指標	計画			92.5人
	実績	94.7人	86.8人	-
事業費	事業費	114,296	119,789	127,258
	人件費	10,030	9,916	10,106
	(人数)	1.2	1.2	1.2
	合計	124,326	129,705	137,364
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	124,326	129,705	137,364

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	2	ナイター開催増によるも、入場者の安全が確保できた。
経済効率性	3	2	開催日の繁忙・閑散による警備の人員を考慮している。
事務効率性	3	2	警備会社へ委託であるため効率性は高い。
必要性	3	3	競走の公平かつ安全性を確保するため、継続的に実施すべき事案である。
小計	12 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	0	1	
合計	12 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	ナイター開催日数増による競艇場周辺地区については、場内警備と同様、周辺地区の声を察知させ十分な配慮を行った。
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

ナイター開催により、駅前通り周辺の警備については、地区の要望で適正な配置をすることとした。

今後改善すべき点

場内の構造上及び駐車場の点在により、警備員の人員の見直しは、繁忙日・閑散日等で現状維持とする。

平成16年度予算に反映する項目

組織、人員に関する提言

開催日増により嘱託職員の増員を希望する。

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	競艇事業部	警備課	内線等	97-400
----	-------	-----	-----	--------

事業コード		事務事業名	駐車場誘導・周辺警備事業	
根拠法令等	モーターボート競走法		A法令	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇
------------------	----

事務事業の内容

対象	競走場への来場者に対して
手段	競走場周辺での安全・秩序を維持することによって
想定する成果	競走の公平かつ安全性を確保する。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
年間駐車数(台)	622,265	613,768	580,000
収容台数(台)	4,096	4,156	4,085
開催日数(日)	220	241	228

成果指標

成果指標名	1日当りの駐車収容率	1日当りの駐車数
成果指標の説明	駐車数/(収容台数/開催日数)×100	駐車数/開催日数

事業の進捗状況 (モーターボート特別会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			62.2%
	実績	69.0%	61.2%	
成果指標	計画			2,544台
	実績	2,828台	2,547台	
事業費	事業費	114,296	119,789	127,258
	人件費	10,030	9,916	10,106
	(人数)	1.2	1.2	1.2
	合計	124,326	129,705	137,364
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	124,326	129,705	137,364

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	2	ナイター開催増によるも、入場者の安全が確保できた。
経済効率性	3	2	開催日の繁忙・閑散による警備の人員を考慮。
事務効率性	3	2	警備会社へ委託であるため効率性は高い。
必要性	3	3	競走場周辺での安全・秩序を維持するため継続的に実施すべき事案である。
小計	12 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	周辺対策協議会を通じて警備に関する意見の収集を行った。
合計	13 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	ナイター開催日数増による競艇場周辺地区及び駐車場は万全の体制にて警備を行い安心・安全を確保することができた。
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

ナイターレース中における駐車場及び場周辺地区での巡視の強化をすることとした。

今後改善すべき点

競艇場周辺の警備員の適正化に努め、より効果をあげることができるよう、隊員の教育を指導することとする。

平成16年度予算に反映する項目

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	競艇事業部	警備課	内線等	97-400
----	-------	-----	-----	--------

事業コード		事務事業名	競艇場内外清掃事業	
根拠法令等	モーターボート競走法		A法令	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇
------------------	----

事務事業の内容

対象	場内への入場者に対して
手段	競走場内外での清掃を実施することによって
想定する成果	競走場の清潔の保持を確保する。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
年間ごみの量(kg)	256,230	270,260	256,000
開催日数(日)	220	241	228
清掃員数(人)	8,040	8,709	8,322

成果指標

成果指標名	1日当りごみの排出量	1日当り清掃員数
成果指標の説明	ごみ量/開催日数	清掃員数/開催日数

事業の進捗状況 (モーターボート特別会計) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			1,122kg
	実績	1,164kg	1,121kg	
成果指標	計画			36.5人
	実績	36.5人	36.1人	
事業費	事業費	94,970	121,532	162,714
	人件費	6,686	6,610	6,738
	(人数)	0.8	0.8	0.8
	合計	101,656	128,142	169,452
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	101,656	128,142	169,452

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	場内外清掃を清掃会社に委託し競艇場の清潔保持に努めた。
経済効率性	3	3	清掃会社委託とすることとした。
事務効率性	3	3	清掃会社へ委託であるため効率性は高い。
必要性	3	3	競走場の清潔保持を確保するため、継続的に実施すべき事案である。
小計	12 / 12 満点中	12 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	周辺対策協議会を通じて清掃に関する意見の収集を行った。
合計	13 / 15 満点中	13 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	競艇場内外の清掃は、清掃業者委託とする。ナイター、デイレースにかかわらず、効率・清潔保持に万全の体制にした。
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

競艇場内外の清掃は、平成15年1月から業者委託とし、併せて経費の軽減に努めた。

今後改善すべき点

競艇場内外の清掃は、全面業者委託とする。

平成16年度予算に反映する項目

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	競艇事業部	警備課	内線等	97-400
----	-------	-----	-----	--------

事業コード		事務事業名	救護・苦情等処理事業	
根拠法令等	モーターボート競走法		A法令	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇
------------------	----

事務事業の内容

対象	場内への入場者に対して
手段	競走場内での安全・秩序を維持することによって
想定する成果	競走の公平かつ安全性を確保する。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
事案（救護・苦情等）件数	297件	365件	330件
年間開催日数	219日	241日	228日

成果指標

成果指標名	開催日1日当りの事案発生率
成果指標の説明	年間場内事案件数/年間開催日数 × 100

事業の進捗状況（モーターボート特別会計）

（千円）

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			1.4件
	実績	1.4件	1.5件	
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	107,992	113,323	119,788
	人件費	6,686	6,610	6,738
	(人数)	0.8	0.8	0.8
	合計	114,678	119,933	126,526
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	114,678	119,933	126,526

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	3	2	開催増により、内容は煩雑傾向にある。
経済効率性	2	2	囑託職員で対応している。
事務効率性	2	2	競走に関する事案については効率性は低い。
必要性	3	3	競走の公平かつ安全性を確保するため、継続的に実施すべき事案である。
小計	10 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	0	0	
合計	10 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	ナイター開催日数増によるも、日々事案は多種多様である、このような現状の中で動静を察知し事を未然に防ぎ安心・安全である施設で体制を万全にすることとした。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

場内での苦情処理について、軽微な事案は各々の現場にて対応することとした。

今後改善すべき点

場内の入場者は、年老いたファンが際立つ、突然持病により倒れ意識を失い救急車で搬送されるケースが多い。救急体制の確立が必要とされる。
競技面の苦情も多数あるため、競走会の専門職員を配置し苦情処理の迅速を図る。

平成16年度予算に反映する項目

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載